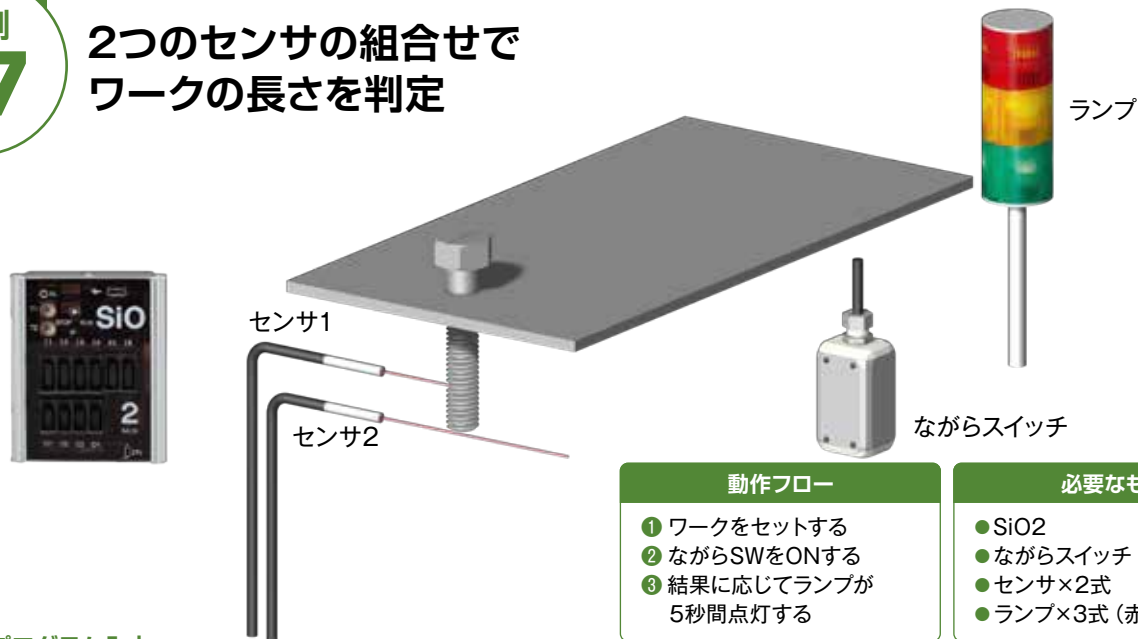


事例
172つのセンサの組合せで
ワークの長さを判定

動作フロー

- ① ワークをセットする
- ② ながらSWをONする
- ③ 結果に応じてランプが5秒間点灯する

必要なもの

- SiO2
- ながらスイッチ
- センサ×2式
- ランプ×3式 (赤・黄・緑)

プログラム入力

出力	ONの条件				状態				OFFの条件				出力方法	
OUT1 (青ランプ)	IN1 (ながらSW)	ON	さらに	FLAG1 (正常)	ON	すると	直接値	0.0 秒後	時間	5.0 秒経過	—	—	—	まで 青ランプ が ON
OUT2 (黄ランプ)	IN1 (ながらSW)	ON	さらに	FLAG2 (長異常)	ON	すると	直接値	0.0 秒後	時間	5.0 秒経過	—	—	—	まで 黄ランプ が ON
OUT3 (赤ランプ)	IN1 (ながらSW)	ON	さらに	FLAG3 (短異常)	ON	すると	直接値	0.0 秒後	時間	5.0 秒経過	—	—	—	まで 赤ランプ が ON
FLAG1 (正常)	IN2 (センサ1)	ON	さらに	IN3 (センサ2)	OFF	すると	直接値	0.0 秒後	ONの条件	OFF	—	—	—	まで 正常 が ON
FLAG2 (長異常)	IN2 (センサ1)	ON	さらに	IN3 (センサ2)	ON	すると	直接値	0.0 秒後	ONの条件	OFF	—	—	—	まで 長異常 が ON
FLAG3 (短異常)	IN2 (センサ1)	OFF	さらに	IN3 (センサ2)	OFF	すると	直接値	0.0 秒後	ONの条件	OFF	—	—	—	まで 短異常 が ON